

学校だより

あ お ぎ り

No. 1 3

平成23年1月31日

須坂市立森上小学校



< 1 / 2 8 現在の校庭の様子 >

スキー教室 終わる

21日(金)に3・4年、27日(木)に5・6年のスキー教室が実施されました。

3・4年は今まで通り飯綱リゾートスキー場、5・6年生は今年から峰の原スキー場でのスキー教室でした。

両日とも、晴れたり曇ったり時には雪が降りする天候の変わりやすい1日でしたが、子どもたちは皆、技術の上達を目指し、熱心に練習に励みました。

今日は、スキー教室でした。ぼくは、3ばんでした。

さいしょは、なれなくて、転んでばかりだったけど、午後の講習会で上手になれました。

リフトに、友だちといっしょに乗っていた時も、楽しかったです。

また、今度、スキーに行きたいです。

(3年児童の日記)

「3学年だより」より転載

雪は友だち

15日(土)16日(日)に降った大雪。平地でも30センチほどの降雪になりましたが、その後続いた低温のせいもあってか、まだまだ解け残っています。

久しぶりの大雪に喜んだのは、やはり、子どもたち。そして、学校での遊びの一番人気は、もりうえ山でのそり遊びでした。寒さをものともせず、雪上でマラソンを続けていた子どもたちもいました。

子どもにとっては、「雪は友だち」であることを再確認した1月の雪でした

< もりうえ山でそり遊び >



昼食は、カレーライスです。5・6年生は体も大きい分、食欲も旺盛で、1杯目のご飯はあっという間に終わり、2杯目をよそってもらおうとする子どもたちで、カウンター前に長蛇の列ができました。3杯、4杯と食べ進む子どももいて、ご飯やカレーが足りなくなるのでは...とひそかに心配するほどでしたが、準備万端整えて対応してくださったスキー場の皆さんのおかげで、全員が無事、お腹を十分に満たすことができました。

3・4年でリゾートスキー場で十分に練習を積んでおけば、5・6年生になって峰の原スキー場を利用することになっても、問題なくできることが分かりました。

冬の読書旬間 ... 様々な取り組みが

17日から28日まで、冬の読書旬間でした。旬間中は、下記のような様々な取り組みが実施され、充実したものになりました。

図書委員会の活動

- ・書名あてクイズ
- ・姉妹学級への読み聞かせ

わたしのおすすめ本です！！

- ・「おすすめの本」を紹介カードに書き
図書館の本の間にはさんでおく →
 - ・読んだ人は、裏面に感想を書いておく
 - ・旬間後、自分のしおりを回収して、友だち
ちが書いた感想を読む というもの
- 朝の読書の時間

- ・先生方による読み聞かせ など

お楽しみ企画

- ・先生方によるパネルシアター



28日(金)の2時休みに、先生方によるパネルシアター「3びきのやぎ」の発表がありました。これは、研修の時間を使って先生達自身が作ったもの。低学年児童50人ほどが集まり、大好評でした。

「須坂子ども読書チャレンジ」への取り組みも進んでいます。すでに、数人が表彰を受けました。

わたしのおすすめの本です！

| | |
|----------|--|
| 本の名前 | 借りぐらしのアリエッティ |
| 本の著者 | 吉田 かつのり |
| 読んで感じたこと | アリエッティがはじめて借りに行くと、人間に見つかったけど、その人はやさしかった。 |
| 推せん者 | 3年仁組 Nさん |

ひとつことかんそうコーナー

最初は、アリエッティはふつうの人間かなと思ったけど、読んでみたら小人だとわかった。しょう(人間)はやさしかったから、良かったなと思った。 4年智組 Kさん

< 3学期始業式の話 >

偶成

少年易老学難成一寸光陰不可輕
未覚池塘春草夢
階前梧葉已秋声

短い3学期 時間を大切に過ごそう

中国の詩を紹介します。
「少年老い易く 学成り難し
一寸の光陰軽んずべからず
未だ覚めず池塘春草の夢
階前の梧葉すでに秋声」
と読みます。

「若いと思っていなくても年をとるのは早いもので、学問をやり遂げることは難しい。わずかの時間もおろそかにしないことだ。春、池のほとりの若草の上でうつらうつらしているだけと思っていたのに、玄関先のアオギリの葉はもう秋の色をしている」

「1月は行く。2月は逃げる。3月は去る。」というふう
にこの3か月間の過ぎる速さを言い表すこともあります。

このような意味です。

短い3学期ですが、それぞれの目標に向かってがんばっていきましょう。

今年のはうさぎ年ですが、くれぐれも、「うさぎとかめ」のうさぎのようなうっかり者にはならないように気をつけたいものです。